

**地盤品質判定士会中部支部**  
**令和6年度 第5回 幹事会 議事録**

- A. 日時 2025年1月24日(金) 15:00～17:00
- B. 場所 国際航業 中部事業所 会議室 および Zoom
- C. 出席者 千野、桃井、居川、利藤[欠]、向井[W]、谷口[W]、長沼[W]、北林[W]、小嶋、斉藤[W]、堀中、倉橋[W]、藤代[W]、小山[W]、後藤[欠]、品川[W]、金森[欠]、山名[W]、植田、高森  
([欠]は欠席、[W]は Zoom 参加、敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部 第4回幹事会議事録の確認 (幹事長)
- ・報告-2 本部幹事会報告 (支部長)
- ・報告-3 JGS 中部支部 覚書締結予定について (支部長)
- ・報告-3 地盤に関する問い合わせ状況 (調査 G)
- ・報告-4 その他報告 相談料の対応フローについて (総務 G)
- ・審議-1 9月講演会アンケート報告 (広報 G)
- ・審議-2 11月防災フェスタ出展報告 (広報 G)
- ・審議-3 令和7講演会企画 (行事 G)
- ・審議-4 令和6年活動の振り返り、R7年計画案 (各 G)

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認 (報告-1)

前回幹事会(10月29日)の議事録を確認した。

2. 本部第幹事会報告 (報告-2)

1月15日に実施された本部幹事会内容について確認した。

- ・地盤品質判定士会幹事会運営細則の変更となる。
- ・印章取扱規定に変更があり、支部印について追記された。中部支部では支部印の管理は支部長が行うとし、承認された。
- ・賛助会員に現在38社が加盟している。
- ・地盤品質セミナー等の講習会は本部講習会運営WG中心で開催予定。本部や支部の講習会分担等を定めて検討することになる。
- ・講習会・各種販売システム利用のサーバーOSを変更することとなった。

- ・関西支部より、和歌山県では許可申請等に関わる手数料の方が盛土規制法審査手数料より安価である事例についての報告があった。今後、各自治体で金額に差が生じることが予想され、注視していく。
- ・神奈川支部では、相談マニュアルの改訂が昨年12月末に実施されている。このマニュアルを関西支部と中部支部へ配信し、情報共有を図っている。なお、このマニュアルは判定士会内だけの取扱いとし、情報漏洩に配慮が必要である。
- ・関東支部設立準備会において、森先生を支部長とし、立上げを実施していく。
- ・審査部会より、令和7年5月(予定)からの審査業務に向けて準備中である。基本としては、審査業務を地元企業に委託して実施することを目指す。契約等打合せについては、本部又は支部から出席するなど詳細については未定状態である。

### 3. JGS 中部支部 覚書の締結予定について（報告-3）

地盤工学会中部支部との覚書取交しの進捗について報告があった。調印は理事長印ではなく支部印とし、4月からの発効で進めている。

### 4. 地盤に関する問い合わせ状況について（報告-4）

#### 4-1 相談状況について

前回幹事会以降で5件の相談(無償3件、有償2件)があった。相談の詳細についてはSAMBAフォルダへ保存している(1物件は対応中)。

- ・台風10号の豪雨による石積擁壁・建築地盤の変状について
- ・大規模盛土造成地の中古一戸建て購入に伴う地盤リスクについて
- ・隣接地の崖地、既設擁壁のリスクについて
- ・隣接崖地、宅地擁壁の安全性について
- ・総会公開資料「洪積層の液状化判定」に関する質疑について

#### 4-2 相談実施状況

相談件数は去年(16件)に対して14件と概ね同程度である。メディア(NHK)に取り上げられることで相談が一時的に急増したようである。

### 5. その他報告（報告-4）

#### 5-1 地盤相談に関する相談料の対応フローについて

2024年4月より変更されていた有償相談で発生する相談料の対応で、個人判定士と企業内判定士の対応フローについて説明があった。

- ・個人判定士は、年間相談料が3万円以上(税込)の場合、活動支援金の処理が発生する。その際、提出書類として、『活動支援金支払報告書』と『請求書の写し』を本部に提出する。期間は1月～12月とし、翌年2月29日までに振り込む。
- ・支援金の支払金額は、振込手数料込みでよく、端数切捨てでかまわない。

## F. 審議事項

### 1. 9月講演会アンケート報告について（審議-1）

9月27日に実施した講演会のアンケート結果について報告があった。

- ・アンケート回答は15件であった。
- ・今年は各講演についてのコメント記載をお願いしたが、概ね好評の回答が得られた。
- ・参加費については、『妥当』との回答が得られた。中部の講演会は本部提示よりも安くしている。次年度についても金額設定について検討したい。
- ・1名、幹事として活動に参加できると回答を頂いている。幹事会への参加について打診できないか連絡先等を確認したい。

### 2. あいち防災フェスタ出展報告について（審議-2）

11月10日に参加した愛知防災フェスタへの出展について報告があった。

- ・地盤相談は14件であった。今年は不動産情報ライブラリーHPを利用したが、プリントアウトが上手くいかなかった。次年度実施では見せ方が課題となった。
- ・本年も減災館から展示品をレンタルした。借用の連絡が直前となってしまったため、次回は早期の連絡を実施したい。

### 3. 令和7年の講演会企画について（審議-3）

令和7年の講演会テーマは「地盤の環境問題に関する最近の話題(仮称)」とし、4講演を計画している。

- ・各講演者と調整中であり、詳細は確定していない。
- ・参加料金は中部支部独自の金額となっており、7年も設定金額について検討したい。
- ・参加料の条件について、賛助会員やJSG法人会員などについて確認したい。
- ・昨年は学生を募集したが参加者はゼロ人であった。申し込み時に学生価格の1000円を選択できなかったようである点、学校関係者を通じた案内・周知などの改善が必要である。
- ・講演テーマは、住宅メーカー・宅盤などを専門とする技術者の方にも興味を得られるよう“宅地”に関する内容を取入れていく方針はどうかとの提案があった。
- ・テーマは「地盤の環境問題・・・」を「地盤・宅地の環境問題・・・」などに修正し、個々の講演もそうした内容に寄せた内容を盛り込んで頂くよう依頼をするなど（環境問題には住宅の振動や騒音も含まれる）、行事グループで検討頂くこととした。
- ・1名未決定の講演者は、宅地裁判事例等に関する講演の依頼することは可能との提案があった。

### 4. 令和6年活動の振り返り、令和7年の計画案について（審議-4）

各グループから令和6年の活動報告と7年の計画についての報告があった。

来年の課題として、自治体との意見交換や連携など自治体交流に関する事項が挙げられ

た。ただし、実際に公共からの地盤相談を受け持つには、中部支部ではもっと人手が必要であり、有償対応できる人員も少ない。そのため、相談対応者および幹事の拡充について積極的に活動していきたい。

#### G. その他

- ・幹事会后、懇親会にて種々の意見交換を行った。
- ・次回幹事会の予定
  - ・2025年3月14日(金)予定

以 上